

令和6年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会 議事概要版

日時：令和 7 年 1 月 20 日（月）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：沖縄県市町村自治会館 4 階 第 5・6 会議室

※以下は、意見内容を踏まえて分類・整理しているため、発言順ではない部分もある。

1. 報告事項について

(1)公園管理センター増築・改修に係る報告【資料2】

- 管理センターの増築・改修スケジュールについては、令和 8 年度中に工事が完了するということか。（委員）
 - 令和 8 年度の秋に正殿完成となっているため、それまでに運用できる体制をつくる予定である。防災設備等整備の実施設計については、既に着手しており、令和 7 年度に整備に着手予定である。（沖縄県）

2. 令和6年度の検討事項【資料3・資料4・資料5・】

(1)防災設備等の運用体制【資料3】

- 通常時の正殿内部の利用者動線について、一般利用階段は上り階段、仮設階段棟は下り階段として使用する形となっているが、避難時は、一般利用階段は下り階段となり、人の流れが逆転するため、誘導員を配置し、避難誘導することが必要である。また、2 階おせんみこちゃ近辺で発災した際は、仮設階段棟が避難に使用できなくなる可能性があり、その場合の避難のシナリオを検討する必要がある。（委員）

(2)防災設備等の取扱いに係るツールについて【資料4】

- 首里城公園では現在どのようなツールがあるのか。（委員長）
 - 首里城公園においては、案内マップなどはあるがコンパクトサイズの避難用マニュアルなどは特段準備していない。今後、公園利用者や現場スタッフに分かりやすく周知するツールを整備するにあたり、事例収集を行っている段階である。（沖縄県）
 - 公園内の案内サインについては、今年度の実施設計、次年度に整備を予定している。（沖縄県）
- 安全管理については、設置者だけでなく公園利用者も一緒に参加できるとよい。事前に修学旅行を行う学校などに協力を依頼し、訓練に参加してもらうと勉強の機会になるのではないか。（委員長）
 - 毎月の防災訓練で知識の蓄積や練度は上がっているので、公園利用者にも参加・見学する機会を他施設の事例なども参考に検討していきたい。（沖縄県）
- 首里城正殿内に入る場合は、土足可能か。アメリカの大学やボストンのフリーダムトレイルでは床にリボンを貼って動線を示している。正殿内部の動線については、案内誘導のス

タッフのみか。リボンのような印があると案内や誘導の際にも分かりやすいのではないか。
(委員)

➤ 首里城正殿内では、前回復元時と同様、土足禁止の運用を予定している。順路については、誘導員だけではなく案内標識も設置予定だが、歴史的空間の再現という側面もあるため、損なわないデザインを検討していく。(沖縄県)

- 消火設備の景観配慮について事例紹介があったが、背景に溶け込んで消火設備が分からなくなることもあるのかもしれないと感じた。(委員)

➤ 公園全体としてのデザインの統一性も重要と考えている。県営区域については、次年度に防災設備の整備を予定しているため、国営公園側とも連携し検討を進めていきたい。
(沖縄県)

- 事例はいくつもあることから、好事例をたたき台として検討を進めたほうがよい。(委員長)

➤ デザインを統一するなど、分かりやすいツールを検討していく。(沖縄県)

(3)管理運営の仕組みの見直し【資料5】

- 性能基準である維持管理業務と仕様基準である防災業務を一括して入札にかける際に、契約書の骨子も含めて全体のイメージを整理することが必要。

また、人員配置が難しいため、受注後に外部に業務を出すことになった場合の管理責任をどのように設計するのかについて検討しておいたほうがよい。(委員)

- 一般的な指定管理者制度と今回の防災・防火業務については、仕様基準とすることの違いを明確に示す必要がある。性能基準では受託者の自由度を持たせ、仕様基準では実施すべき事項を明示すると指定管理制度の改革にもつながると思う。(委員長)

➤ 承知した。(沖縄県)

- 特記事項として一行加えるだけでよいが、イベント実施時に初動対応マニュアルとは違う点を県と受託者間で確認し、今後のイベント実施時における体制を確立することが必要。
(委員)

➤ 承知した。(沖縄県)

- 管理責任者の能力や責任を持てるかをどう判断するのか。実務経験についても要件とした方がよいのではないか。(委員)

- 仕様書の中で資格の有無だけでなく、どの程度の経験が必要かを要件とした方がよい。(委員長)

➤ どの程度の同種業務の実績、経験が必要なのか検討していきたい。(沖縄県)

- 仕様基準の場合、事業者にはどのような内容で提案をさせるのか、または資格だけで評価していくのか。(協力委員)

➤ 現時点では、防災・防火に関し、現場の人材育成等をどう継続していくのかについて提案してもらい、評価していくことなどを考えている。(沖縄県)